

## 令和7年 第11回 大刀洗町議会定例会 一般質問一覧表 【2日目】

令和7年9月17日(水)

順番	質問者	質問事項	質問内容	質問の相手
5	安丸眞一郎 小項目ごと	1 安全・安心のまちづくりに向けた防災・減災対策、被災者への支援について	(1) 農地等の宅地化等に伴い、水田等が減少していることから、水路等排水機能が十分でないところは道路の冠水や宅地への流れ込み等による被害が発生している。 防災・減災に向けた排水機能向上等町の対策の考えは。  (2) 被災者への支援の考えは。	町長
		2 町道（上町草分飛行場中央線）の菊池橋への歩道の設置について	菊池橋下流側に歩道を設置することで歩行者の安全、また、隣接する大刀洗公園利用者にとっても利便性が向上すると考えるが。	町長
		3 大刀洗町戦没者追悼式の現状と今後について	(1) 戦没者追悼式への過去5年間の参加状況及び現状は。 (2) 戦後80年を経過し、戦争の悲惨さを知る人が年追うごとに減っていく現状のなか、次の世代へ継承していくため、町や学校で今後どのように取り組んでいくのか。	町長 教育長
6	中村竜博 小項目ごと	1 文化財の活用について	(1) 本町が文化財として価値を見出しているものの保存するに至ってない史跡等はあるか (2) 地域ごとに残してほしいと言われる文化財が多数見受けられるが今後の対応は	町長
		2 地域経済活性化について	(1) 町民の所得向上について ・町民の所得向上が必要と考えるが町の見解は ・現在、町民の所得向上に向けた町の取り組みはあるか (2) 地域ブランド創出事業について ・これまでの事業の進展と町長の見解は ・具体的な今後の目標はあるか (3) 道の駅（物産館）構想について ・道の駅の進捗状況は ・町単体では時間がかかるのであれば民間や近隣自治体との連携などの方法も考えられるが、町の見解は (4) 外国人観光客インバウンドの取り組みについて ・外国人観光客の誘致について町長の見解は ・技能実習生などと本町へ外国人観光客を誘致するためのPRを考える機会などを作ってみてはどうか (5) ふるさと応援寄附金の活用について ・寄附金を増やすために現在行なっているものはあるか ・コンサル等の専門家と町が契約して返礼品を出店している事業所や新規出店者の支援をしてみてはどうか	町長
7	平山賢治 大項目ごと	1 マイナ保険証について	以下のことについて、当町の対応や今後の方針はどうか。 (1) 紙の保険証を来年3月まで認める方針（6月27日厚労省）についての周知 (2) マイナ保険証は義務ではないと言う周知 (3) マイナ保険証の解除方法についての周知 (4) 国保税の滞納への対応（田村質問主意書に対する内閣の答弁書、8月18日報道） (5) 被保険者の生命や健康をまもる立場から、政府への要請	町長
		2 法に基づく行政運営を求めることについて	(1) かててについて、 ①町長や副町長などがかててを任意団体と言ったのはいつからか。 ②それはなぜか。 ③それまでの各種文書や町長マニュフェスト、事業補助金、議会や委員会の発言などでは、町はかててをどのような団体と主張しているか。 ④町長以下管理職の職責はなにか。 (2) 第三者委員会について、 ①委員会の詳細と予算額はどうか。 ②設置に際し、町は自らどのような調査を行ったうえで委員会に委任するものか。 (3) 内部通報制度について、12月議会以降、1日も早い整備を求めるが、その後の定例会、答弁追跡制度によっても具体的な回答が得られない。その理由と今後の対応は。 (4) 一般会計における消費税の取り扱いについて、現状や見解はどうか。	町長
		3 財政や今後の事業について	(1) 7年度当初予算での財政調整基金の繰入額について、経緯と分析は。また次年度以降の見込みはどうか。 (2) 不要不急の事業を廃止・縮小し、財源を住民への生活支援や負担軽減に振り向けることについて、町長の方針は。 (3) 不要不急の事業を廃止・縮小し、職員を法律にもとづく事務事業に振り向けることについて、町長の見解は。	町長